

令和2年度苫小牧市福祉事業協会事業報告

第1の子ども・子育てをめぐる現状

長期的な少子高齢化により、子どもの出生の減少、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化などにより子育て世代の子育てに関する相談機会の減少など子育ての環境は、変わり続けています。

そのような中、国は子どもの良質な成育環境を保障するため、平成27年「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、この支援新制度に基づき、市においては「苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、乳幼児への教育・保育の充実、子育て支援に関する施策を進めており、令和2年から「第2期苫小牧市子ども子育て支援事業計画」が策定されております。

また、少子化対策として子育て世代の経済的負担軽減や人格形成の基礎を培う幼児教育・保育の役割の重要性を鑑み、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が実施されています。

さらに全国的にも深刻化している児童虐待につきましては、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」、「児童福祉法」などの法改正により施策の強化が進められており、市におきましても、今年1月から市内に室蘭児童相談所の分室となる“こども相談センター”が開設され、虐待対応とともに子育てに関する相談が身近なものとなりました。

本法人の保育環境としまして、質の高い養護と教育が一体となった保育を目指しております。令和2年2月の新型コロナ発生の公表は、園運営に多くの影響をもたらしました。園内における手洗い、マスク・消毒などの感染予防対策の徹底や子どもが密着する状況をつくらぬ工夫をしながら子どもの健康状態の把握を行いました。終息が見えない状況でありますので、引き続き感染予防対策を行うとともに市、保健所などの関係機関との連携に努めてまいります。

第2 少子化の進行と待機児童の現状

市の12月末の人口は、平成30年は171,811人、令和元年は171,242人、令和2年では170,205人、年間の出生数は、平成30年は1,243人、令和元年は1,146人、令和2年では1,152人となり、前年比6人の増加となりましたが、今後も少子化の傾向が予想されます。

未就学児（0～5歳）の児童数は、平成30年度は8,288人、令和元年は8,015人、令和2年度は7,710人、令和4年度は7,187人、令和6年度は6,813人と推計されています。

市が公表した国の基準に基づく市内の保育園等の待機児童数は、令和2年5月1日現在で市が公表している第一希望の入園待機は、178人で0～1歳が全体の65%を占めていましたが、令和3年3月1日現在では、329人となり、中でも0～1歳が80.5%を占め、低年齢児の待機児童が増加しています。

第3 法人組織

1 法人の設置目的及び経営原則

法人の設置目的及び経営の原則に基づき、地域福祉の推進に努め、誰からも愛され、信頼される法人として健全な運営・経営に努めております。

2 令和2年度の主な事業

令和2年度の主な事業につきましては、7事業を予定しておりましたが、「役員研修会への参加、職員との意見交換会の開催」、「親睦会行事の開催」の2事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。そのほか「評議員会・理事会の開催」、「監事

監査の実施」、「苫小牧市法人保育園協議会、園長会議等における重要案の報告」、「特色ある保育園としての活動と施設整備、人材確保に向けた取組」、「法人組織に必要な方策の検討」の5事業に取り組んで参りました。

評議員会は、定時評議員会を6月に開催し、令和元年度苫小牧市福祉事業協会事業報告、理事の選任、令和元年度各施設拠点区分決算について承認をいただきました。

理事会は、第1回を6月、9月、1月、3月の4回開催し、監査結果報告、新型コロナウイルスの対応について、保育事故に係る第三者委員による苦情解決報告について、第2回9月の開催では、職場におけるハラスメント防止に関する規則の制定について、現場視察としてあけの保育園をご覧いただきました。その他給与規程・保育園運営規程の一部改正について、苫小牧市福祉事業協会事業報告、新年度事業計画、各施設拠点区分決算について承認をいただきました。

・監事監査の実施

令和2年度は5月、9月、11月、3月の計4回開催いたしました。

・法人保育園協議会、園長会議における重要案件の報告

法人保育園協議会の目的としましては、保育の現状、課題を整理し、保育事業の充実、発展に寄与することを目的に、市及び関係機関に要請・陳情活動を毎年行っております。

令和2年度は、特別保育事業への補助並びに障がい児保育加算の増額、保育所への研修費補助の実施について、5歳児相談事業の強化及び5歳児健診の実施について、苫小牧市感染症対策マニュアルの策定と各事業者への周知について、協議会役員が市長と懇談の上、要望書を提出しております。引き続き保育事業の充実に向けて要望してまいります。

園長会議につきましては、毎月月初め、午後で開催しており、入所状況、園児職員の動向、事故報告、事務局からの連絡、重要案件の報告など、全体での検討事項の協議の場を設けるなど情報共有に努めています。

・特色ある保育園としての活動、人材確保に向けた取組

特色ある保育園の活動としまして、多様化する利用者ニーズに対応するため、保育及び事業の実施並びに施設運営等に関する調査研究を行い、自己研鑽、職場環境の改善・活性化に資することを目的とする「苫小牧市福祉事業協会職員視察研修実施要綱」が定められています。

例年、職員（役員）が参加する全国保育研修会、保育所保育士専門研修、北海道、東北ブロック保育研究大会、地域子育て支援拠点事業職員研修、乳児保育や障がい児保育担当保育士研修等、多くの研修会へ積極的に参加をしておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により参加を断念せざるを得ないと判断いたしました。オンライン開催による研修には積極的に参加いたしました。

そのほか各施設の職場内研修は、随時実施することとしております。

人材確保につきましては、保育における教育の充実など、協会ホームページ、SNSやインスタグラムへ掲載するなど、さらに内容の充実を図ることが人材確保に繋がるものと考えています。

・法人組織に必要な方策の検討

本法人の理念であります。地域に愛される保育、質の高い保育を目指すため、子育て世代の保育に対するニーズの把握や園児の発達に留意した本法人独自の保育を確立することが必要であり、事業内容については理事会等の役員への協議承認をいただきながら進めて参りたいと考えます。

第4 保育事業

「すべては、こどもたちとその未来のために」「生命と人権を真の愛をもって守り、地域に愛される保育をめざす」を保育理念とし、“豊かな心のこどもをめざして“明るく、楽しく、元気なからだを保育目標として質の高い保育に努めました。

1 全体計画・年間事業計画・行動計画等

保育の方針や保育目標に基づき、保育の「ねらい」、「内容」について保育園生活を総合的に展開するため、園ごとに全体計画を策定し、保育の方針、目標、年齢ごとの保育目標、養護や健康、人間関係、環境、言葉、表現などの教育、食育を進めるための具体的な保育内容を定め、それに向け実践しながら園児の生活や発達に留意した保育を行っています。

年間事業、行事計画、研修等の計画につきましては、事業計画・行事計画書を作成し、年間行事計画、各種研修・会議計画、地域・関係機関との連携などを計画し、準備を進めております。

また、保育の質の向上を目指し、自らの保育の実践と子どもの育ちを振り返り、保育士自ら自己評価を行い、園長の総合評価を受けて次の保育に向けた改善を行っています。

保育に関する指導計画の作成につきましては、必要な記録書類の簡素化や保育業務における安全管理の確認、年間研修計画などについて積極的な意見の取り入れや職名ごとの会議の場を積極的に設けるなど、質の高い保育に向けた取組みを行っています。

2 通常保育

利用可能な保育時間につきましては、標準時間午前7時30分から午後6時30分までの11時間、短時間保育につきましては、午前8時30分から午後4時30分の8時間としております。

令和2年4月1日の入所予定数は利用定員446人に対して403人、入所率90.4%と見込まれておりましたが、実際の入所数は400人、入所率は89.6%となりました。令和3年3月1日現在では、431人の入所数、特に0歳児が19人、1歳児8人の増など低年齢児の入所数が増加し、令和2年度の入所児童総数は、4,972人、平均で92.9%の入所率となりました。

3 休日保育

たいせい保育園が午前8時から午後6時まで、定員10名で無料、4月1日現在3歳以上で保護者の日曜・祝日の就労等により保育が必要な幼児を対象にしております。利用状況では、年間343人の登録があり、利用者は192人となりました。

4 病児保育

病児（体調不良児対応型）保育事業は、ひよし保育園で実施しております。令和元年では0～1歳児で41人、2～3歳児で24人、4歳児8人、合計73人の利用がありましたが、令和2年度では、0～1歳児12人、2～3歳児8人、4～5歳児6人の合計26人となりコロナ感染を危惧されてか、前年比35%の利用数となりました。

5 延長保育

あけの保育園を除く5園で実施されており、通常保育（保育標準時間、保育短時間）時間を超える保育は延長保育料がかかります。標準時間認定利用時間は午前7時から午前7時30分まで、午後6時30分から午後7時まで、短時間認定利用時間は午前7時30分から午前8時30分まで、午後4時30分から午後6時30分までとしています。

延長保育の実績としましては、標準時間の登園につきましては、3園で1,522件、降園は5園で697件となり、短時間では6園で179件が延長保育となりました。

6 一時預かり事業

あけの保育園の保育士により実施している事業で、事業内容としましては、非定型的保育

サービス事業（就労、職業訓練及び就学等）、緊急保育サービス事業（傷病、事故・災害、出産、介護等）、私的理由による保育サービス事業（心理的・肉体的負担の軽減）、月曜日から土曜日の午前9時から午後5時まで、対象児は満1歳から小学校就学前までの児童としており、利用料は年齢別で600円～1,600円としています。利用状況としましては、利用延児童数は、560人でパート就労や自営等の非定型的保育サービス事業の預かりが83%、次に心理的、肉体的負担の軽減とされる休養の私的理由による保育サービスの利用が16%という結果となりました。

7 乳児保育及び障がい児保育

乳児保育につきましては、生後57日目からの受入れをひよし保育園、こいとい保育園、すえひろ保育園、あけの保育園で行っており、生後4か月目からの受入れをたいせい保育園、さくらぎ保育園で受入れております。また、障がいのある子どもにつきましては全園で受け入れております。実績としましては、0歳児の受入人数は、416人、障がい児につきましては、延べ人数ですが、ひよし保育園4歳児5人、たいせい保育園4歳児12人の合計17人が入所しました。

8 食育

食育は心身の成長や人格の形成に大きな影響を及ぼし健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となりますことから、苫小牧市立保育園食育計画に基づき、法人としても様々な実践に取り組んでおります。栄養士の会議の中で、食育について理解を深めようと「食育だより」を作成発行し、食物アレルギー対策を万全に行い、一人一人に応じた食への興味・関心・意欲を引き出すなど、食を営む力を育むとともに、国や市のガイドラインに基づき情報を発信するなどに取り組んでおります。

また、苫小牧市食育推進協議会には、苫小牧市法人保育園協議会の推薦により本法人の栄養士が参加しております。

9 地域における公益的な取組

平成28年に社会福祉法の改正により「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規程が創設され、地域において、少子高齢化・人口減少などを踏まえた福祉サービスを提供するよう努めなければならないことから、本法人では「未就園児の保護者に対する子育て相談、子育て講座」、「保育士養成校等からの実習生の受入」、「保育ボランティアの育成」を実施しています。

事業内容としましては、あけの保育園にて実施し、育児相談、子育てルームの開放、赤ちゃん広場、親子で遊ぼう、手づくり広場、読みかせを行う子育てルーム事業、各種講演会、食育講習、子育て講座、園長講座、看護師講座、地域の方による講座などの講習会の開催や地域の高齢者とのふれあい広場、地域の小・中・高校生とのふれあいの場など、地域や関係機関との連携を図る事業を実施しています。

子育てルームの活動では、保育園機能を活かした子育て家庭が抱える不安に向き合うことを目的に育児相談や育児講座の開設などに取り組んでいます。

利用状況としましては、午前開放の日数は201日、登録世帯数は126件、利用延人数は1,338人と昨年の半数となり、育児相談では、昨年度の36件に対し、令和2年度は基本的な生活と育児の方法に関する相談の2件となりました。そのほかルーム外活動の子育て講座や午後開放などにつきましても、コロナ感染により不安は参加人数に大きく影響しました。

10 修繕工事等

園舎の老朽化等によります整備につきましては、各園の小破修繕を行いました。

主な修繕としまして、ひよし保育園では、駐車場新設工事、こいとい保育園では、トイレ

水抜き栓漏水修繕やボイラー設備修繕、さくらぎ保育園では、園庭整備工事、たいせい保育園では給湯器取替工事、すえひろ保育園では、プレイルーム手洗場給水管修理、屋外暖房埋設配管漏水調査工事、あけの保育園では、給湯設備設置工事、コロナ対策のための園児用手洗い場自動水栓取替工事などを行いました。

また、施設整備に関しましては、環境保育を目指しているあけの保育園の園庭につきましてもコロナ禍により、工事が中断しておりまして完成が先送りとなる可能性も出て参りました。

第5 職員関係

令和2年4月1日現在の職員数は、133人であり、正規職員67人、嘱託・契約・パート職員66人でありました。

令和3年3月1日現在では、143人、正規職員は本部5人を含め、70人（保育園の配置人数では園長等管理職7人、主任保育士等7人、副主任保育士6人、保育士は41人、栄養士6人）、嘱託・契約・パート職員では73人で、嘱託3人、保育園パートとして67人（契約保育士等4人、パート保育士34人、パート看護師2人、パート調理員15人、保育補助10人、パート補助員2人）、その他休日保育に係るパート職員が3人（選任保育士1名、パート調理員2名）を配置しています。

本部事務局は、事務局(嘱託)1人、次長1人係長1人、主事3人であり、体制に変化はありません。